



江津市立桜江中学校 学校だより

いわき

R6. 3. 13(水)

第23号

文責:井口 猛



令和5年度(第49回) 卒業証書授与式

3月8日(金)、15名の卒業生が桜江中を巣立ちました。ご卒業おめでとうございます。桜江中の伝統を引き継ぎ、素晴らしい活躍を見せてくれた卒業生。きっと次の進路先でもしっかりと力を発揮してくれることと思います。

これで本校の卒業生は2063名となりました。これからも桜江中の発展を温かく見守っていただきますようよろしくお願いいたします。

「答辞」より

1・2年生のみなさんのおかげで、とてもすばらしい卒業式になりました。ありがとうございました。3年生のいない桜江中は寂しいですね。

さて、卒業式の「答辞」の次の内容を覚えていますか。「1年生のみなさん、来年度は中堅学年として、3年生を支えつつ、お手本となるような頼もしい姿で、新1年生に中学校のことを教えてあげてください。」「2年生のみなさん、来年度は看板学年、桜江中学校の顔です。僕たちからのバトンを受け取り、桜江中の伝統を受け継いでください。中学校生活はあっという間です。仲間との日々を大切に、悔いのない中学校生活にしてください。」

引き続き新年度に向けて準備をしていきましょう。

学力調査結果より

昨年12月に行われた「島根県学力調査(国、数、英、意識調査)」と「江津市調査(社、理)」の結果が返ってきました。校内での分析が終わりましたので裏面でお知らせいたします。本校の経営方針の大きな柱の一つである「ふるさと・キャリア教育」の推進にご家庭や地域にもご協力いただき取り組んでいるところですが、この結果から、子どもたちが地域で学びを深め、学力をつけ将来への夢を抱いている様子が分かります。

今後も、さらなる確かな学力とふるさとを愛する心を育てていきたいと考えています。保護者の皆様にも家庭学習等でご協力をお願いすることもあると思いますが、引き続きご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

令和5年度 島根県学力調査および江津市調査の結果分析

○国語・数学・英語は島根県調査のため県平均値と比較。

○社会・理科は江津市独自実施のため目標値と比較。

※目標値とは、調査業者による学習指導要領に示された内容について正答できることを期待した生徒の割合を示したもの

	1年生	2年生
全体	平均正答率については、国・数・英はすべて県平均値と比べて上回り良好な状況である。社・理は目標値と比べて上回るか同程度であり概ね良好である。無回答率は低めで、記述問題にも積極的に取り組んでいる。	平均正答率については、国・数・英はすべて県平均値と比べて大きく上回り良好な状況である。社・理も目標値と比べて大きく上回り良好である。無回答率は低めで、記述問題にも積極的に取り組んでいる。
国語	概ね良好であり、特に、「話し合いの内容を聞き取る」、「文学的な文章の内容を読み取る」、「文章を書く」については上回っている。	概ね良好であり、「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「話すこと・聞くこと」、「書くこと・読むこと」については上回っている。
社会	概ね良好であり、特に、「日本の姿」、「世界各地の人々の生活と環境」、「飛鳥時代～平安時代」については上回っている。また、「世界の姿」に課題がある。	概ね良好であり、特に「日本の地域的特色と地域区分」、「ヨーロッパ人との出会いと全国統一」については上回っている。
数学	概ね良好であり、特に、「平面図形」については上回っている。また、「文字式」、「比例・反比例」に課題がある。	概ね良好であり、特に「式の計算」、「図形の性質」、「証明」については上回っている。
理科	概ね良好であり、特に、「動物の分類」、「光の性質」については上回っている。また、「水溶液の性質」に課題がある。	概ね良好であり、特に「物質の成り立ち」、「化学変化と物質の質量」「生物と細胞」「気象の観測」については上回っている。また、「動物のからだのつくりとはたらき」に課題がある。
英語	概ね良好であり、特に、「聞くこと」、「書くこと」については上回っている。また、「長文の読み取り」に課題がある。	概ね良好であり、「聞くこと」、「読むこと」「書くこと」についてはかなり上回っている。
意識調査	<p>学校や家庭で、きまりを守ったりあいさつをしたりと基本的な生活習慣は定着している。また、学校や自分、地域のことが好きで、友だちや家族、先生から認められていると感じている生徒が多い。さらに将来の夢をもち、自分の力をできる限り伸ばしたいと考える生徒も多い。</p> <p>肯定的回答率が低かったのは、「新聞の記事を読んでいる」「勉強に図書館を・辞書（電子辞書を含む）を使っている」「朝は自分で起きている」「夜は時刻を決めて寝ている」などである。ただし、これらの回答結果と、学力調査の結果の高低に強い結びつきは見られない。</p>	<p>学校や家庭で、きまりを守ったり、あいさつをしたりと基本的な生活習慣は定着している。また、学校や自分、地域のことが好きで、友だちや家族、先生から認められていると感じている生徒が多い。さらに将来の夢をもち、自分の力をできる限り伸ばしたいと考える生徒も多い。</p> <p>肯定的回答率が低かったのは、「新聞の記事を読んでいる」「勉強に図書館を・辞書（電子辞書を含む）を使っている」などである。ただし、これらの回答結果と、学力調査の結果の高低に強い結びつきは見られない。</p>